



《 第2回避難所生活（宿泊）体験に参加して 》

（令和元年7月26日）

地震や津波などの災害が起きると、こんなにも大変なことになってしまうのかととても不安を感じました。お皿やスプーン、コップは段ボールとサランラップで作ることができるんだと初めて知りました。災害はいつ起きるかわからないので、非常食や災害が起きたときに必要な物を事前に用意しておかないといけないことを勉強しました。河合則夫さん・藪田幸久さん、ありがとうございました！（5年：近藤大空）

僕は避難所生活体験で、ご飯を特殊な袋で炊いたり、食器を作って食べたりすることを学びました。ご飯は、特殊な袋に米粒と水を入れるだけで、ご飯が炊けるのか心配でしたが、しっかり炊けていました。味もすごくおいしかったです。これからも、この避難所生活体験で学んだことを生かしていきたいです。防災課の方、僕たちのためにこのようなイベントを開いていただき、ありがとうございました！（5年：薬丸颯人）

災害はとても怖いもので、今のうちから災害に備える準備を絶対にしておきたいと思いました。街頭で災害に遭った人たちへの募金活動を見かけることがあります。避難所体験学習を受ける前までは何とも思っていなかったけど、これから1円でも募金をして被災者の助けになればいいなと思います。この体験では、食器を作るだけでもとても大変だったし、暑い日で体を動かさなくても汗が噴き出てきたので、もし本当の災害が起きたらどんなに大変なんだろうと思いました。災害はいつ起こるかわからないし、きっとけが人や死者が出るかもしれません。悲しいし、絶対に起こらない方がいいと思います。私は、この避難所体験学習でたくさん大切なことを学びました。これからも、こうした避難所生活体験学習を続けていってほしいと思います。一日とても楽しく学ぶことができ、ありがとうございました！（5年：柴田春香）

最初にすごいなと思ったのは、懐中電灯の停電のとき、ビニール袋をかぶせるだけで、周りが明るくなる方法や、身近な物で作ることができることを教えてもらったことです。私は、自分の家でビニール袋をかぶせたときと、かぶせなかったときを比べてみると、ビニール袋をかぶせたときの方がとても明るかったので、防犯用のリュックにビニール袋を入れておきました。それに、クッキーやタオルも入れておきました。今度、キャンプに行くときに、この体験で学んだ炊飯の仕方を教えてあげたいです。また夜は、懐中電灯やその他にも教わったことを使う機会があると思うので、活用していきたいと思います。防災課の方、ありがとうございました！（5年：松浦由依）

※「南海トラフ巨大地震」… 今後30年以内に70～80%の確率で発生すると予想されています。